

全国協議会 ニュース

2012年2月1日発行
第236号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:中野勝博
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

箱根駅伝で10回目の啓発活動 全ての皆様に「感動と勇気」を届けたくて

2012年正月、新春の箱根路に「たすきに熱い絆をこめて」第88回箱根駅伝復学大駅伝が開催され、今年も骨髄バンクのぼりが沿道に赤く染められました。2003年に全国協議会として「箱根駅伝における骨髄バンク普及啓発活動」を取り組み始めてから今回で10回目となります。特に、今回は昨年3月11日発生した東日本大震災に被災された方々に、「感動と勇気」を届ける思いを込めて走ったと選手をはじめ多くの関係者がコメントされ、その様子はテレビを通じて、被災された方々はもとより、お正月を病院で過ごさなければならぬ患者さんたちにも届いていることでしょう。

今年も本活動に対して機会を与えて下さいました関東学生陸上競技連盟様、のぼりの設置と活動にご協力いただいた宮ノ下商店街箱根駅伝イベント実行委員会様、鈴廣浦幹様、箱根町消防署様、箱根恵明学園様、沿道でのぼり旗を持ち奮闘されたブルデンシャル社関係の皆様やボランティアの皆様、そして宮ノ下での募金活動に、ご協力くださいましたすべの皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございます。

●内幸町

昨年引き続き、主人と、名古屋在住の主人の母と、3人で駅伝ボランティアに参加しました。義母は、義父をガンで亡くしてからずっと鬱病を患っています。そんな義母が、昨年参加したとき、「誰かのために役立つ活動をするってこんなに気持ちの良いことなんだね!」と目をキラキラ輝かせ、「ぜひまた参加したい。」と今年もがんばって東京まで出てきました。義母の病状も日に日に良くなっていきますし、「こんな活動をしているあなたの会社はすごい!」と私の仕事への理解も深まり、ボランティア活動の意義の大きさを感えています。

●御成門

まだ暗い早朝の5時に家を出て、活動場所の御成門交差点にて、活動場所の御成門交差点にて、7時少し前に到着。ブルデンシャルの皆様約30名と骨髄バンク関係者4名が集合し、大谷さんの挨拶の後、全員で60本のぼりをセッティングして選手のを待ちました。8時10分頃、先導車両に導かれた選手団が、あつという間に目の前を通りすぎ、活動は終了しました。昨年に続いて二回目の参加ですが、来年はどうでしょうか? 増上寺に初詣して今年の平穏を祈願し帰宅しました。

●宮ノ下

1月2日の箱根駅伝から、ボランティアの一年がスタートします。私が宮ノ下富士屋ホテル前の活動をしてから、連続4回目になります。朝6時には家を出て、帰宅は夜の8時頃、一日がかりです。それでも箱根の冷気の中で、選手が近づくと

花火は鳴り響き、各選手の名前を声張り上げて声援するのが楽しいのです。東洋大の山の神柏原選手が目前を駆け抜けていきました。今年も地元の皆様のご協力でのぼりを立て、大震災被災患者支援基金のチラシを沿道にうめる大勢の人たちに渡し、大声で募金をお願いをし、伝統の箱根駅伝での活動への気力を頂き、帰路につきました。



1月3日、復路の小田原7区で子どもたちと一緒に初めてのぼりを持たせていただきました。昨年の同じ日、私はテレビで観戦。赤い骨髄バンクののぼりに気づいたのもテレビの画面でした。なぜ気づいたかというと、バンクにお世話になり、その年の春の終わりにドナーさんから骨髄を頂き移植をしたばかりだったからです。「骨髄を頂いた」と書きましたが、私は「命を頂



いた」と思っており、ドナーさんからまた新しい命を頂き、こんなに元気になって、今度は私が病氣と闘っている患者さんを応援することができました。そういう感謝の気持ちでのぼりを持たせていただきました。赤いのぼりを見て、辛い治療を少しでも頑張る気持ちを、そして治るといふ希望を持つてくださった方が一人でもいらしたら嬉しいですね。(宮本真樹)

●小田原

1月3日、JR小田原から少し歩いた国道15号線から大手町のゴールを目指す各大学のアンカーの選手たちが左折する交差点に、近県からの骨髄バンク関係者が二十名ほど集合していました。のぼりの準備やチラシ配りをしながら、携帯のワンセグで一位で通過するであろう東洋大学の選手が近くなるのを待ちました。遠くに先導する白バイが見えると応援の輪も幾重にもなり、我々は骨髄バンクの赤いのぼりがTVによく映るように、また他の応援者の邪魔にならない

●田町

この度は、私たち患者会の署名活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。CAEBVはEBウイルスが原因の病氣です。EBウイルスはごくありふれたウイルスで、日本において、成人の9割以上が感染しています。通常、無症状のまま、生涯にわたって潜伏感染しますが、稀に高熱やリンパ節の腫れなどの症状を頻発するCAEBVとなる人がいます。進行すると悪性リンパ腫や白血病に至ることもあります。

●菅 早苗 理事

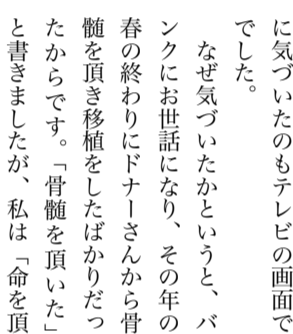
病気の仕組み自体、未解明なことも多く、何が起るかわからない大変難しい病氣です。似た症状の病氣が多数あり、診断が難しい。私(菅早苗)が運営委員として全国協議会の運営に関わるようになってからを振り返ってみると、全国キャラバン、法人化、1万例五千人記念植樹、認定NPO取得

●菅 早苗 理事

元氣なお顔に接することができ、寒い日でしたが心の中は温かいものを感じながら帰路に着きました。(千葉の会 仲田幸江)

●菅 早苗 理事

1月15日 全国協議会事務局(協議事項) 名義後援、承認案件 2013年全国骨髄バンクボランティアの集い、総会について 事務局移転について 暫定予算について マリンロータリークラブからの基金提案について 休業補償制度の紹介について 東日本大震災被災患者支援基金 直接経費の拠出について 予備費の振り替え処理について



全国協議会事務局 移転します
2月9日より、住み慣れた新宿区愛住町から千代田区東神田に事務所を移転することになりました。新事務所の連絡先は以下のとおりです。
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-4 KTビル3F
TEL: 03-5823-6360 FAX: 03-5823-6365
詳細は来月号でご紹介します。

東日本大震災被災者支援基金

12月21日~1月20日 (合計3,953,460円)

千葉骨髄バンク推進連絡会 (募金箱)	現金 11,523円
姫路地区骨髄バンク推進センター (募金箱)	現金 43,190円
みやぎ骨髄バンク推進連絡会 (募金箱)	現金 15,701円
箱根駅伝宮ノ下募金箱	現金 44,168円
嶋津 桂子	現金 3,000円
金井 真知子	現金 5,000円
重久 善俊	現金 20,000円
嶋津 桂子	現金 3,000円 (敬称略)

給付累計件数 25件 合計3,976,650円

基金積み増しにご協力ください
●郵便振替 (通信欄に震災支援と記載)
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
00150-4-15754
●銀行の場合
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
ゆうちょ銀行 008店 普通 4799951

理事会メンバーの抱負

得……などなど、様々な出来事があった事を思い出します。これまで加盟団体の皆様を始め、たくさんの方々に支えられてきた事を改めて実感しています。今期は理事としてこれまででできた事、できなかった事を忘れずに、長年全国協議会を牽引して下さった大谷貴子前会長から会長職を引き継いだ市川團十郎(今後の予定) 2月19日 第110回理事会

元氣なお顔に接することができ、寒い日でしたが心の中は温かいものを感じながら帰路に着きました。(千葉の会 仲田幸江)

慢性活動性EBウイルス感染症 (CAEBV) 署名活動にご協力を!

この度は、私たち患者会の署名活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。CAEBVはEBウイルスが原因の病氣です。EBウイルスはごくありふれたウイルスで、日本において、成人の9割以上が感染しています。通常、無症状のまま、生涯にわたって潜伏感染しますが、稀に高熱やリンパ節の腫れなどの症状を頻発するCAEBVとなる人がいます。進行すると悪性リンパ腫や白血病に至ることもあります。病気の仕組み自体、未解明なことも多く、何が起るかわからない大変難しい病氣です。似た症状の病氣が多数あり、診断が難しい。私(菅早苗)が運営委員として全国協議会の運営に関わるようになってからを振り返ってみると、全国キャラバン、法人化、1万例五千人記念植樹、認定NPO取得

第109回理事会報告

1月15日 全国協議会事務局(協議事項) 名義後援、承認案件 2013年全国骨髄バンクボランティアの集い、総会について 事務局移転について 暫定予算について マリンロータリークラブからの基金提案について 休業補償制度の紹介について 東日本大震災被災患者支援基金 直接経費の拠出について 予備費の振り替え処理について

共催イベント 北から南から

緑結びの地で ドナーさんに感謝

1月15日、ここ縁結びの地、出雲で『骨髓バンク設立20周年記念講演会』と題して、三百人収容の出雲市役所にびぎ大ホールでイベントを開催いたしました。

例年荒れ模様はこの時期に、会場内は立見の人も出るほどの盛況ぶり、会は3部構成、1部では島根県内の調整医師の先生達にお集まりいただき島根県の現状と将来展望について話してもらい、2部は骨髓移植で命を助けられたという体験をお持ちの古美術鑑定士・安河内眞美氏をお招きして骨髓バンクへの想いを込めた講演をいただき、そして、3部では「ドナーさんありがとう」の意味も込めて患者さん、看護師、家族、医師、ドナーさん達にご登壇いただき、フリートークの形でそれぞれの方の想いを述べていただきました。その中には昨年提供者になられた益田市長にも参加していただいたところ、場内の特設のドナー登録受付を設け日赤から派遣していただいた医師と看護師に問診と採血業務をお願いしていただき、20数名の登録をしていただきました。



「見知らぬあなたからいのちをありがとう」
骨髓バンク設立20周年記念講演会 in しまね

した。この開催経験を今後にかし精進して参りたいと思っております。今後とも宜しくご指導のほどお願い申し上げます。
(実行委員会 田中)

北海道札幌市
地下街のイベントコーナー
札幌の新しい空間で



札幌には、40年以上昔の冬季オリンピックの時にできた地下商店街があります。ところがここでは、イベントやPR活動を行うには規制が厳しすぎて、ほぼ何もやる事ができません。昨年3月開通した「札幌駅大通駅間」の地下歩行通路は、冬季間の市民活動に配慮して最初からアート展示・大道芸等イベント・物販などのエリアが仕組まれていて、私たちの活動も可能になりました。1日の通行量8万人とは札幌では驚異の数字です。12月18日、ここで行われた札幌市の主催による授産施設の製品販売などの福祉イベントと共同の健康イベントに参加しました。写真は、そのエリアに設けられたマルチスクリーンを使った骨髓移植の案内です。今回は、PRが目的で登録は予定していませんでしたが、今すぐに登録したいという人もいます。札幌駅前献血ルームにご案内した方も一人おいででした。
(北海道協会 瀧)

兵庫県姫路市
骨髓バンク支援
チャリティクリスマス
コンサート2011

昨年12月24日に骨髓バンク支援「チャリティクリスマスコンサート2011」を開催し250名の方々にご来場頂きました。第一部は、姫路市立書写中学校吹奏楽部の方に、力強い演奏で、会場はハンドベルのやさしい音色に包まれました。一部と二部の間には、国際ソロプチミスト姫路の会員様のご協力のもと「被災患者支援基金」の募金を行いました。また、ロビーでは、兵庫県立大学体育会の方にお手伝いいた



だき「慢性活動性EBウイルス感染症」の周知・費用の患者負担軽減の要望書の署名活動も行いました。
中学生や高校生に出演していただくことにより、若い世代の方たちに骨髓バンクを知ってもらえるので、これからも毎年続けていきたいと思っています。
(姫路の会 濱田)

だき「慢性活動性EBウイルス感染症」の周知・費用の患者負担軽減の要望書の署名活動も行いました。
中学生や高校生に出演していただくことにより、若い世代の方たちに骨髓バンクを知ってもらえるので、これからも毎年続けていきたいと思っています。
(姫路の会 濱田)

ボランティアの仲間たち 牧園次男さん(鹿児島)の巻

久しぶりのコーナー復活！
なつかしの第一回(本紙第122号)に登場頂きましたが、75歳になられたマッキーこと牧園次男さんが再登場で自ら執筆くださいました。
* * *

日本一早い公認フルマラソン「指宿菜の花マラソン」は毎年1月第2日曜日に開催されます。成人の日に行われる城山ライオンズクラブ主催の献血併行ドナー登録会が、第二日曜日と重なるようになったため、しばらく骨髓バンクPRマラソン出場は止めていました。
ところが一昨年10月、骨髓バンクパネル展の最終日の帰宅途中、自転車同士の事故で半月板を損傷し、チャリ配りも出来ない状態でしたが、ほぼ回復しましたので、久しぶりに挑戦しましたが、来年はフルマラソンを目



指宿菜の花マラソン

参加レポート
平成23年度厚生労働科学研究
免疫アレルギー等予防治療研究事業／がん臨床研究事業
造血細胞移植研究7班合同公開シンポジウム

1月9日、東京医科大学湯島キャンパス鈴木章夫記念講堂で開かれました。7班の研究結果が一般向けに報告されるシンポジウムです。当日のプログラムからいくつかをご紹介します。
名古屋大学熱田先生からは、移植件数、生存分析などの全国一元化登録が始まり公開されているとの報告があり、これらのデータベースを基に、より適切な移植が可能になるのではと、期待が膨らみました。
愛知県がんセンター森島先生の報告「非血縁ドナーを選択する際のポイント」では、HLA不適合の場合の移植可能性、選択について判ってきていることがいろいろあるとの感じを受け、更なる成績向上に繋がればとの期待が高まりました。
名古屋第一赤十字病院宮村先生からは、「非血縁の末梢血幹細胞移植と骨髓移植の違い

は？」というところで、近年増えつつあるミニ移植に必要なソースであり、移植までの期間短縮が期待される非血縁末梢血幹細胞移植の利点などが紹介されました。しかし、期待と共に、会場から質問があつた様に、採取施設が増えているかなど、まだ途上の感じもしました。
国立がん研究センター中央病院の福田先生からは、移植成績向上に有効な薬剤、機器で海外で使われているにもかかわらず、国内では未承認なものも多くあるが、オーファン領域でもあるため、医療者の努力、製薬会社の協力、患者の声などの活動が承認に向けて効果的のお話がありました。
全体的な印象として、研究テーマはほぼ同じですが毎年新しい研究成果が発表され、移植成績向上に向けた先生方の熱意を強く感じました。(溝口)

心
の
声
菅野美奈さん
その3

女優の小川美那子さんと知り合ひ、彼女のプロデュースする「私たちに光を！ 生きることを諦めたくないから……」というお芝居の最後に、提供の体験談を話す機会を頂き、時々話させて頂いています。
先日、そこで骨髓提供を受けて生還した青年と知り合うチャンスに恵まれました。彼は、私が提供した人ではありませんが、私が提供させて頂いた人も青年

心からのご寄付に 感謝申し上げます

12月21日～1月20日

福豊帝酸株式会社	現金	300,000円
福豊帝酸株式会社	現金	40,180円
株式会社エアネット	現金	134,000円
三井化学株式会社チビットワンコイン	現金	200,000円
三井化学株式会社	現金	200,000円
エクゼキユープ株式会社	現金	700円
天本 祐爾	現金	30,000円
志田 和子	現金	20,000円
越田 智佳子	現金	3,000円
實野 真弓	現金	5,000円
匿名	現金	5,000円
●白血病患者支援基金		
ケンコウ調剤薬局	現金	8,907円
やきとりおぼこ	現金	24,800円
嶋津 桂子	現金	3,000円
峯 カズミ	現金	2,000円
嶋津 桂子	現金	3,000円
●佐藤さち子患者支援基金		
MRIインターナショナル,INC.	現金	26,000円
高橋 清英	現金	5,000円(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髓バンク推進連絡協議会

骨髓バンクの最新情報をお知らせする

●平成23年のドナー登録者数
平成23年(1～12月)の新規ドナー登録者数は、昨年比べて2,694人増の38,836人(前年比約7%増)で、2年連続しての増加傾向です。東日本大震災の影響もあり、4・5月には登録者数が落ち込みましたが、6月以降は前年を上回って推移し、特に9月804人、11月758人、12月901人と大幅な増加が見られました。県別に見ると、昨年同様、緊急雇用対策で献血ルームへの職員派遣を行った埼玉県が大きく数字を伸ばしており、登録者拡大に具体的な取り組みを行った群馬県や富山県などでも、顕著な増加が見られます。窓口別では、献血並登録会でのドナー登録者は702人の減少で、これは4・5月併せて1,200名以上の落ち込みがあった影響と考えられます。被災地以外でも、イベントの自粛や延期にともなう登録会の中止が多く見られました。一方、献血ルーム・血液センターにおける登録者は3,687人の増加が見られ、ACによる広報が再開された効果が大いと思われる。なお、この度ドナー登録者が40万人に到達したことを受け、1月12日(木)にプレスリリースを行いました。

●平成23年の移植数およびコーディネイト状況
平成23年の移植数は1,215件(国内ドナー⇒国内患者:1,203件、海外ドナー⇒国内患者:4件、国内ドナー⇒海外患者:8件)でした。平成22年の件数(合計:1,213件、国内ドナー⇒国内患者:1,200件、海外ドナー⇒国内患者:5件、国内ドナー⇒海外患者:8件)とほぼ同数ですが、国内ドナーから国内患者への提供がやや増加しました。また、平成23年の確認検査数は5,648件(前年比98%)、最終同意は1,532件(前年比105%)でした。コーディネイト期間については、ドナーコーディネイト開始から骨髓採取までの期間の中央値は120日で、前年の121日より1日短縮されました。

●12月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム/1,418人、献血併行型集団登録会/2,284人、集団登録会/30人、その他/121人

●日本骨髓バンクの現状(平成23年12月末現在)

	11月	12月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,797	3,853	400,972	527,023
患者登録者数	254	228	2,915	34,642
骨髓移植例数	112	96	-	13,713
20歳未満ドナー登録者	-	305	16,574 ¹⁾	-
51歳以上ドナー	255 ²⁾	156 ³⁾	25,565 ⁴⁾	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
1) 17年3月～ 2) 51歳以上ドナーの延長数 3) 51歳以上ドナーの新規登録数 4) 17年9月～

と聞いていたので、彼と会った時「私が提供した人もきつと元気になってくれる！」と確信しました。息子に伝えたら、良かったねと喜んでくれました。退院前に一度だけ息子が見舞いに来てくれた時のことをよく覚えています。恐らく初めてあなたに長く一人で電車で乗り、またバスに乗り換え、片道一時間以上掛けて来てくれました。その時に、他愛もないことを話したと思いますが、明るいうちに帰そうと思ひ、売店でお菓子を買い与え、私は病院外には出られないので病院の出口まで見送りました。明日、また会えるのは解つて居たけど、ちよつと抱き寄せました。息子の髪の色は健康な人間の色です。(完)